

令和4年度 美術館研修－鑑賞ワークショップ－ 実施要項

- 1 目的 美術館における鑑賞学習を体験し、美術館と連携した鑑賞学習の充実の図り方を学ぶ。
- 2 対象 小・中学校、義務教育学校、府立高等学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）、府立支援学校の図工・美術担当教員

募集人数 28名

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	7月26日(火) 11:30~16:30	美術館と連携した鑑賞学習の充実 ー美術館での鑑賞学習体験ー ー学習指導要領の理解ー ー鑑賞学習のための美術館との連携についてー ー鑑賞学習プラン作りー [講演・演習]	国立国際美術館 学芸課 主任研究員 藤吉 祐子 大阪府教育センター 指導主事等

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 国立国際美術館（大阪市北区中之島4丁目2番55号）

京阪中之島線「渡辺橋」駅下車、南西へ約400m
 地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅下車、西へ約600m

- 5 担当室 高等学校教育推進室
- 6 その他 (1) 来館時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 (2) 自家用自動車・バイク等で来館しないこと。
 (3) 問い合わせ等は、大阪府教育センター高等学校教育推進室（06-6692-1882）まで行うこと。

令和4年度 美術館研修－鑑賞ワークショップ－ シラバス

3372

1 目的

美術館における鑑賞学習を体験し、美術館と連携した鑑賞学習の充実の回り方を学ぶ。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○				
第1期										○	○				
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
開始前・1	美術館と連携した鑑賞学習の充実 －美術館での鑑賞学習体験－	美術館で実際に鑑賞体験をし、鑑賞学習プラン考案のためのイメージをつかむ。	美術館における鑑賞学習を通して、主体的に作品を味わう。	
	美術館と連携した鑑賞学習の充実 －学習指導要領の理解－	学習指導要領「B 鑑賞」の目標及び内容を理解し、学習指導要領の趣旨に基づいた鑑賞学習プランの在り方を理解する。	図工・美術の学習指導要領の趣旨を理解するとともに「B 鑑賞」の目標及び内容に基づいた鑑賞の学習プランを検討する。	
	美術館と連携した鑑賞学習の充実 －鑑賞学習のための美術館との連携について－	美術館と連携した鑑賞学習について、効果的に進めるための連携の方法と配慮すべき事項を理解する。	美術館の活用と連携の方法を知り、鑑賞学習を充実させるための方法を考える。	
	美術館と連携した鑑賞学習の充実 －鑑賞学習プラン作り－	美術館と連携した鑑賞の学習プランについて考察する。	美術館と連携した鑑賞の学習プランについて、小グループで検討し、その内容を共有する。	